令和7年度第1回 福岡市健康づくりサポートセンター指定管理者選定・評価委員会 議事要旨

日時	令和7年6月5日(木)午後7時00分～8時00分	
会場	福岡市役所本庁舎 15階 1503会議室	
出席者	委員	有馬委員、占部委員、中原委員、濱田委員、吉田委員
	事務局	総務企画部長、保健医療政策課長、事業推進担当主査、係員

<議事概要>

1 開会

2 委員照会及び委員長選出

3 会議の公開について

福岡市健康づくりサポートセンター指定管理者選定・評価委員会設置要綱第6条第1項各号に基づき公開とした。

4 議題

公募資料について 《事務局より公募資料及び審査基準について説明》

- 委員 指定管理料を決定額以下に収めたら、その分減額となるのか。
- 事務局 あらかじめ精算としている項目を除き、原則、協定書に定める額を指定管理者に支払う。
- 委員 コスト削減が指定管理料の削減に繋がらない前提で、候補者に提案してもらうコスト削減の取組みをどう審査するのか。
- 事務局 コスト削減を適切に図ったうえで、市が示す上限額以下で提案されているかを審査いただく。
- 委員 健康教室や検診の募集業務は市が行っているのか。
- 事務局 広報に関する業務も指定管理業務に含まれる。
- 委員 広報媒体はどのようなものがあるか。
- 事務局 ウェブサイトや、SNS などがある。
令和7年度より、健康づくりサポートセンターの公式 LINE アカウントを作成し、LINE を用いて健康教室などの予約が簡単にできるような取組みを行っている。
- 委員 公式 LINE アカウントの作成等も指定管理者が行っているのか。
- 事務局 お見込みのとおり。
- 委員 応募する事業者が少ないということだが、募集の周知はどのように行っているのか。
- 事務局 公報への登載、市政だよりへの掲載、また、福岡市のホームページには年度当

初から、今年度公募予定の公の市設の一覧が掲載される。

その他にも、今年度は、関連企業への案内などを検討している。

- 委員 業界的な団体が使っている業界紙等への掲載はどうか。
- 事務局 今のところ予定していない。
- 委員 審査について確認だが、応募書類の確認の他に、応募事業者のプレゼンも行われるのか。
- 事務局 第2回選定委員会では、事業者へのヒアリングを実施する。
- 委員 モニタリングに関して、今回からインセンティブ・ペナルティ制度を導入するということだが、指定管理期間5年間の評価を次の公募の審査に反映させるプロセスはどのようにするのか。
- 事務局 具体的な評価の手法については、別途協定で定めることとなっており、まだ詳細は確定していない。
- 委員 応募関係様式の中に共同事業体協定書のひな形があるが、単独の事業者が応募することも可能か。単独で応募して、一部の業務を再委託することも可能か。
- 事務局 可能である。共同事業体前提での募集ではない。
- 委員 指定管理料Bは開催回数で積算しているのか。
- 事務局 受診者数で積算している。
- 委員 これまでの応募はずっと1者か。
- 事務局 指定管理を導入した初年度に実施した募集説明会には十数者の参加があったが、実際に応募があったのはそのうち1者のみで、それ以降1者のみの応募が続いている。
- 委員 健康づくりの取組みは、1者で継続して実施していると、結果をフィードバックしても、同じ形が繰り返され、参加・受診人数が伸び悩むことが多い。できれば競争性が働いて、新しいアイデアを出してくれるような事業者が出てきてほしいところ。興味を持ってくれる事業者が2者以上出てきてほしい。
- 事務局 募集の案内に努めていきたい。
- 委員 民間で対応しづらい部分なので、土日や夜間のサービス提供には価値があると思うが、時代も変わっているので、実績の数字などを見ながら、需要が継続しているのか考えることも重要。
- 事務局 福岡市は全国に比べて検診受診率が低いこともあり、夜間や休日実施など工夫しているところ。
- 委員 なにも症状がない人が予防で行動を起こすためには、やはり広報が重要。
- 事務局 受診勧奨のハガキにナッジ理論を用いるなど工夫して、徐々に結果が出ている。令和6年度の検診受診者数は近年では最多となっている。
- 委員 福岡市の検診受診率はそんなに低いのか。

○事務局 がん検診で言うと、多くの項目が全国より数%低い。例えば、胃がん健診だと全国平均は 46.2%だが、福岡市では 44.2%といったように、全国値より少しずつ低い。

○委員 個別検診は主に医療機関で行っていると思うが、集合検診の場は貴重。あいろんは重症化予防の拠点にもなっており、重要な役割を担っている。

5 閉会